

議案第12号

平成31年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社

事業計画について

定款第7条の規定により、平成31年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社事業計画について理事会の承認を求める。

平成31年3月25日提出

公益財団法人富山市ファミリーパーク公社

理事長 中村 健一

平成 31 年度 事業計画

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 平成 32 年 3 月 31 日

I 基本方針

「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに、呉羽丘陵の豊かな自然の中で、日本産動物の飼育展示や希少野生動物の保護増殖、在来家畜の保存を行い、多様な生物の世界やいのちのつながりを伝えるとともに、園内の里山を活用・整備し、健康増進や癒しの場を提供しながら市民とともに新しい里山づくりに取り組む。また、近隣の地域住民や各施設・団体と連携して無料区域から呉羽丘陵一帯につながる事業を充実させ、呉羽丘陵にある里山の魅力を園内外に向け情報発信しながら、地域に根差した園づくりを進めていく。あわせて県内外からの利用者に向けて誘客事業の充実を図り新規顧客の獲得と利用者の拡大を図る。

さらに、「ファミリーパーク新整備計画」に基づく整備および「富山市環境未来都市計画」に関する取組みに引続き参画することにより、市民がより自然に親しめる市民本位の事業を計画し、コンパクトな街づくりと連動した、市民の健康寿命の延長に寄与する魅力あふれる施設を目指し、運営に取り組む。

II 事業計画

- 1 「富山市ファミリーパーク新整備計画」及び「富山市環境未来都市計画」への継続参画
 - (1) ファミリーパーク新整備計画の整備状況を見ながら富山市と協議し、今後の「いのち体験エリア」の構想や整備についての具体的な検討を進める。
 - (2) 「ファミリーパーク新整備計画」に基づいて整備された無料区域を活用し、無料区域から呉羽丘陵全体へと広がる、里山と自然等を活用した各種事業の企画立案、運営に努める。
 - (3) 有料・無料区域の各種事業や、呉羽丘陵全体と結びついた各種事業について、企画運営、コーディネート、プロデュースできるネットワークやシステム作りを推進する。
 - (4) 呉羽丘陵を舞台にした「環境未来都市計画」に関する取組（フィールドコミュ

ージアム形成プロジェクト)に引き続き参画し、富山市や各団体、企業、大学等と連携を図りながら事業を推進する。

2 富山市栗原路子記念熱帯鳥類保全事業への参画

富山市ファミリーパークでの熱帯地域の鳥類の保全を目的に、富山市に寄付され設置された基金の活用について、富山市と協議しながら、熱帯鳥類の飼育展示施設の整備や維持、その他の保全事業に取り組む。

3 ライチョウ基金事業

- (1) ライチョウの保全事業を目的として設立した基金を指定正味財産として位置づけ、有効に活用し、飼育繁殖技術の確立や普及啓発を推進する。
- (2) 基金への寄付を引き続き、広く市民・県民・国民に募っていく。

4 公益目的事業

(1) 施設管理事業

- ① 快適な園内環境を来園者に提供するために、建物及び設備等施設の維持管理を行う。
- ② 施設の安全対策の徹底や老朽化に伴う改修を計画的に行い、利用者の利便性の向上や安全性の確保を図る。
- ③ 入園者サービスのさらなる向上を目指すとともに、有料・無料区域の運用について検討を行う。
- ④ 入園料の徴収受託事務を行う。

(2) 動物管理事業

いのちの大切さや、人と動物の関わりや文化、生物の多様性を伝えることを目的に、動物の展示及び教育啓発に努める。また、昨年発生した里山生態園におけるニホンザルの脱出事故に伴い、有識者による会議を開催し、里山生態園の展示方針やニホンザルの飼育管理方法などについて検討する。

また、富山市が進めていくファミリーパーク新整備計画事業における、「いのち体験村」(森といきもの体験ゾーン)での具体的な構想の検討を進め、そこで実施するプログラム作成、その他の動物展示ゾーンの事業計画や整備計画について参画していく。

① 飼育展示事業

動物の種の特徴となる形態や行動の展示を充実させることで、生物の多様性について伝えるとともに、親子の展示などを通していのちの大切さを伝える。また、日本産の動物の展示を充実させ、野生動物と人と里山環境

との関係について伝える。さらに、日本在来家畜の展示を通して、日本人との関わりや文化を伝え、その普及と保存に努める。

また、これらの展示を充実・発展させるためにコレクションプランに基づいた動物の収集を進める。

② 繁殖研究事業

コレクションプランに基づいて動物種ごとの繁殖に取り組む。特に国内外の希少野生動物について、他の国内飼育園館や関係機関等と連携して、繁殖研究に取り組み、飼育繁殖技術を蓄積し、保護増殖に努める。また、飼育繁殖技術の継承を図るため、人材育成とその組織作りに取り組む。

③ 教育普及事業

動物を活用した各種ガイドや、体験プログラムを実施し、生物の多様性や人と動物のかかわり、いのちの大切さについて伝える。

また、季節に応じた催し物を企画・実施し、さまざまな視点から動物の知識の普及啓発に努める。さらに、実習や研修を受け入れ、動物を通じた教育活動に取り組む。

さらに、他施設や団体との共催・協力事業において動物に関する普及啓発に努めた。飼育・繁殖にかかわる調査研究によって得られた成果や情報を、展示や各種研究会、講演、出版などで発表する。

④ 在来馬保全活用事業

木曾馬や野間馬、対州馬など、在来馬展示や乗馬体験事業の展開と充実を図り、日本人と在来馬の関わりや文化を伝え、その普及を図る。また、いのち体験エリアの構想における事業展開を検討する。さらに、これらの事業に適した他の在来馬の新規導入を検討し、在来馬の保存に努める。

⑤ ライチョウ保護増殖事業

環境省のライチョウ保護増殖事業計画の生息域外保全実施計画、及び（公社）日本動物園水族館協会のライチョウ保全計画に基づいて飼育・繁殖に取り組む、科学のおよび技術的な知見の蓄積に努める。さらに、ニホンライチョウの展示をとおし、その生息環境の現状を伝え、保全の大切さを普及啓発する。

また、「ライチョウ基金」を有効に活用し、ライチョウの保護増殖の推進に努める。

⑥ ホクリクサンショウウオ域外保全事業

絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオの飼育・繁殖に取り組む、園内を中心とした呉羽丘陵での域内保全および域外保全に向けた科学のおよび技術的な知見の蓄積に努める。また、その生態展示を通して、ホクリクサンショウウオの生息環境の現状を伝え、里山環境の保全の大切さの普及

啓発に努める。

⑦ 里山生態園の在り方検討事業

里山生態園でのニホンザル展示の再開を目指して、展示コンセプトや展示動物の飼育管理、施設改修など総括的に里山生態園の在り方について検討する必要があることから、有識者からなる検討会を開催し、意見を参考に取り入れながら進める。

(3) 地域事業

地域の施設や住民と連携し、呉羽丘陵に市民が気軽に訪れることができる森の賑わいづくりに取り組む。また、地域の自然や文化などの魅力を引き出し、「時代にあった新しい里山再生のモデル」の創出を目指す。さらに、ファミリーパーク新整備計画に基づき、無料区域が呉羽丘陵の活性化や周辺の各施設等の回遊性を向上させる拠点としてその有効活用を図る。

① 悠久の森事業

悠久の森実行委員会と関係団体が連携し、主要事業である「フォーラム・フェスタ」「施設連携」「地域活性」などに積極的に参画し、呉羽丘陵を広く活用した事業の推進に努める。さらに「ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト」では生息地での環境整備活動や小学校への出前授業などを行うことで、呉羽丘陵の生きもの保全・普及に取り組む。

② 輝け！いのちの集い事業

輝けいのち協議会と連携し、いのちの尊さを普及啓発する事業「輝けいのちの集い」を実施する。また、小中学校、高等学校などの児童・生徒、PTA関係者などとの連携を深め、さらなる発展を図る。

③ 地域連携事業

富山市や県内の大学、各種団体など産学官民との連携を図り、そのネットワークを活用した健康、スポーツ、文化、自然などの行事や独自に企画実施する。また、ボランティア活動の園内への誘致を行うことで、幅広い年齢層を対象にファミリーパークや呉羽丘陵の利用を促進し、持続可能な地域社会づくりにつなげる。

④ 活性化事業

ゴールデンウィークや夏休みなど、季節に応じたイベントを企画・実施するとともに、無料区域の活用を図りながら収益事業の拡充を図る。また、富山市や公共機関、学校、企業団体などが主催するイベントに協力する。

⑤ 広報・広告事業

ファミリーパークからの情報を、ホームページ等を活用した情報提供の充実に努める。また、SNS（ソーシャルネットワーキングサービスの略、

フェイスブック等)などを活用した広報活動を引き続き充実させる。

(4) 里山事業

市民が園内及び呉羽丘陵の自然を楽しみながら里山を知り、健康づくりに寄与することができる事業を行う。また、園内の自然環境の保全を図り、里山に生息する野生動植物に関する普及啓発・調査研究活動を実施する。

持続可能な開発目標 (SDGs) や富山市の「環境未来都市計画」に関わる環境教育の取り組みに参画する。

① 里山活用事業

ムササビや野鳥、園内の夜行性哺乳類等の生態を紹介する各種展示を充実させるとともに、自然散策路を健康づくりの場として楽しみながら歩けるよう案内看板類の整備に努める。

② 里山保全管理・整備研究事業

市民いきものメイトや悠久の森実行委員会、呉羽丘陵にホテルを呼ぶ会などの団体と協力し、ホクリクサンショウウオやホテルの生息域内保全を各事業と連携して進めるほか、その生息状況を調査・研究・発表する事業の充実を図る。

③ 呉羽丘陵活用事業

きんたろう倶楽部、呉羽丘陵フットパス推進協議会など各種団体との連携を強化し、呉羽丘陵フットパスの拠点としての機能を充実させる。また、呉羽丘陵フットパスを活用してもらうための情報発信を強化する。

④ 呉羽丘陵フィールドミュージアム推進事業

呉羽丘陵フットパスと連動した冒険体験活動のメニューを充実させるとともに、製炭事業ではこれまでに得られた知見を基に、梨の剪定枝炭について呉羽丘陵での利用方法の検討を開始する。

5 収益事業等

(1) 収益事業

施設内の利便性を向上させ、食や賑わいを創出する事業を推進する。

① 収益事業の充実

無料エリアにおける収益事業の充実を図る。

② 売店・食堂事業

ファミリーパークのオリジナルメニューや商品の開発に努める。また、季節やイベントに合わせた出店や移動販売を行う。

③ ホースライド事業

引き馬による乗馬、乗馬教室、障害者乗馬会などの乗馬体験や馬のエサやり体験などを行う。また、セラピー効果を目的とした乗馬体験や講習会を企画するとともに、学校教育団体を対象としたホースセラピーに関わる体験プログラムを開発し、実施する。

(2) その他の事業

① 遊園地維持管理運行事業

- ・施設の老朽化に伴う安全対策の徹底を図る。
- ・各種法定検査等を実施しながら、運行の安全性の維持を図るとともに、今後の運営について市と協議する。
- ・遊具使用料の徴収受託事務を行う。

6 法人会計

- (1) 公益財団法人として適正な運営に努める。
- (2) 公社の財務会計及び予算・決算等の経理を行う。
- (3) 指定管理者としての指定申請事項に基づく法令等の遵守。